

令和3年2月1日

八戸市議会
議長 森 園 秀 一 様

八戸市議会議会運営委員会
委員長 藤 川 優 里

調査視察実施報告書

本委員会は、次のとおり調査視察を実施したので、令和2年度行政視察等実施要領の規定により報告します。

- 1 日 時 令和2年12月23日（水）10：00～12：00
- 2 場 所 市庁本館3階 第2会議室
- 3 視察方法 オンライン視察
- 4 視 察 先 茨城県取手市議会
- 5 調査事項 オンライン会議の運営、女性議員による議会改革特別委員会の取組、
Y o u T u b eによる本会議映像配信、議会改革を支える事務局職員
の手法
- 6 参加委員 藤川 優里、冷水 保、間 盛仁、中村 益則、田名部 裕美、
日當 正男、田端 文明、工藤 悠平、寺地 則行、伊藤 圓子
- 7 調査結果概要 別紙のとおり

調査結果概要

- 視 察 先 茨城県取手市議会
- 日 時 令和2年12月23日（水）10：00～12：00
- 対 応 者 取手市議会 議長 齋藤久代様
 取手市議会 議会運営委員 赤羽直一様
 取手市議会 議会運営委員 根岸裕美子様
 取手市議会 事務局次長 岩崎弘宜様
- 調査事項 オンライン会議の運営
 女性議員による議会改革特別委員会の取組
 YouTubeによる本会議映像配信
 議会改革を支える事務局職員の手法

1 オンライン会議の運営

(1) 会議

- ・ 「議員」「職員」「市民」の健康に留意しつつ、議会の権能を維持するため「オンライン会議」を用いて、本会議や委員会の「時短」を図るとともに、市議会感染症対策会議によって新型コロナウイルス感染症に関する議会の提言事項を協議。
- ・ 情報通信技術（ICT）を積極的に活用していく理念を議会基本条例に追加する改正を令和2年5月7日の臨時会において可決。それを踏まえ、「市議会災害対応規程」による会議から「市議会感染症対応規程」制定により明確化するとともに、「ICT」の積極的活用も明文化。

(情報通信技術の活用)

第22条 議会は、議会活動を円滑かつ効率的に行うため、情報通信技術の積極的な活用を図るものとする。

2 議会は、災害の発生、感染症のまん延等、やむを得ない理由により議事堂に参集することが困難なときは、その状況に応じた情報通信技術の積極的な活用を通じ、議会活動の継続を図るものとする。

- ・ 「説明・質疑・委員間討議」まではできる改正に。「表決」は、オンラインで実施することに疑問や課題があると認識しているため改正には含まなかった。
- ・ 令和2年6月12日、第2回定例会において「オンライン本会議の実現に必要なとなる地方自治法改正を求める意見書」を可決。

(2) 現地視察

- ・ 担当課職員、議会事務局職員が現地に赴き、委員はタブレットで前年度予算で実施した市内公共施設改修工事箇所や問題箇所の現地調査を実施。

(3) 研修

- ・ デモテック戦略事業(四者協定)により、関係者とのオンライン研修を実施。

※ デモテックとは

Democracy(民主主義)×Technology(技術)=DemoTech(デモテック)

※ 四者協定

①早稲田大学②一般社団法人地域経営推進センター③東京インタープレイ株式会社「SideBooks」④取手市議会・同事務局が連携し、議会においてICTを公式導入する際の課題とその解決策を見出し、他の地方公共団体でそのまま使用できるパッケージ化を確立していく。

(4) 広聴・広報

- ・ 市民や市P連、医療従事者の皆様の意見を聞き、課題を「市議会感染症対策会議」の議題とし、執行機関に提言。
- ・ 令和2年10月1日の市制施行50周年お祝いビデオメッセージを作成。

(5) ペーパーレス・業務改善

- ・ 令和2年10月以降、議案書はじめ各種資料すべてをSideBooksに搭載し、紙媒体の配付を廃止。

2 女性議員による議会改革特別委員会

- ・ 女性議員7人によって議会改革を女性の視点で取り組んでいこうということで平成29年12月に設置。
- ・ 18回の委員会を開催し、平成30年6月に目的達成のため解散(あらかじめ設置の時点から調査期間を定めて行った)。
- ・ 議会に関する関係図書を7人の委員がそれぞれ手にして、原点から会議規則を見つめ直そうという所からスタート。
- ・ 検討過程において、姉妹都市を結んでいる米国ユバシティの市長が訪問した際に、参考人として特別委員会に出席を要請して、米国での女性の社会進出に関する意見を聴取。
- ・ また、男女共同参画審議会委員3人に参考人として出席いただき、議会として考える女性参画について、市民感覚の視点で確認する機会を設けた。
- ・ さらに、特別委員会だけの審査では、幅が広がらなかつたり、固執した考えになってしまいがちになるので、県内等女性議員による意見交換会を開催。茨城県内及び千葉県我孫子・柏・松戸市の女性議員119人に呼びかけ。21市町、45人の参加をいただき、「YES・NOカード」を用いたジャッジ・タイム&ワールドカフェ方式による対話(参加者が各テーブルにグループに分かれて、課題ごとにYES・NOとその理由を考え、グループ討議でYES・NOの問題点を整理する手法)を実施。
- ・ 特別委員会は女性議員のみのため、議会運営委員会と連合審査を実施(解決策を提案して議会運営委員の意見を聞いた)。

- ・ 特別委員会の成果

平成30年6月22日に「誰もが政治参画しやすい社会をめざし実効性ある法整備を求める意見書」、「働く女性が安心して子どもを産み育てられる環境整備を求める意見書」及び「誰もがいつでも安心して利用できる介護制度の改善・拡充を求める意見書」を可決。

3 YouTubeによる本会議映像配信

- ・ 平成21年4月16日の第1回臨時議会から、本会議録画映像のインターネット配信を開始。映像ファイルは、YouTube上の市議会公式チャンネルで配信。
- ・ 取手市議会の中継は本会議のみであったが、コロナ禍で傍聴自粛をお願いしていることから、委員会も配信を実施。

4 議会改革を支える事務局職員の手法

- ・ 「議会愛」は、20年くらい前から使わせていただいている言葉。議員の先には必ず市民がいて、自分たちの議会を好きにならなければ、自分たちのまちも愛せないし、愛は見返りを求めるものでもないし、対価を求めるものでもない、そういった思いから使わせていただいている。
- ・ 議員と議会事務局がしっかりスクラムを組んで進んでいけば、良い議会ができるのではないかと思う。

○主な質疑（要旨）

- ・ オンライン会議の運営

問) 面と向かっていないと不安な所があると思われるが、抵抗感はなかったか。

答) 集まる習慣がついているため違和感はあるが、慣れれば大丈夫かと思う。

問) オンラインによる感染症対策会議の服装について

答) 服装の指定は設けていない。

問) オンラインの導入に当たっての通信環境の整備について

答) 最初の時点では、タブレット端末を貸与していなかったため、議員個人のスマートフォンやノートパソコン等を使用。議会棟に関しては、容量が大きく混線しないよう法人用のものを設置。

問) オンラインでの市民との意見交換会がスムーズにいくための取組について

答) 意見交換会の開催前に接続確認やお試しができるように対応した。

問) 市議会だけではなく、市全体としてICTに取り組んでいるのか。

答) オンラインに関しては、議会が先行し、執行機関が追随している形である。

- ・ 女性議員による議会改革特別委員会

問) 女性議員による議会改革特別委員会の設置のきっかけは何か。

答) 女性議員からの発議である。

問) 県内等女性議員による意見交換会に参加した議会のその後の変化について

答) 柏市議会が、この意見交換会を契機に超党派で議員連盟的なものを作り、様々な取組を行いたいということで、改めて視察を受けた。

問) 特別委員会の成果としての3本の意見書は、全員が賛成したのか。

答) 全員賛成である。

問) 市民への啓発にどのように取り組んでいるか。

答) 今後とも、市民に関心を持っていただけるよう、ホームページやフェイスブック等での情報発信に努めていく。

問) 検討期間を半年間とした理由は何か。

答) 短期集中とする動議が議決されたもの。なお、18回の委員会のほかにも、グループメンバーによる分科会的な会合も行った。

○委員の所感

- ・ 全般については、進行者の説明と参加議員の体験談を織り交ぜた話により、取組内容が理解しやすく大変参考になった。
- ・ 議会改革推進のためには、議員のより前向きな姿勢と事務局職員の更なる踏み込んだサポートの重要性を改めて再認識した。
- ・ webで視察（意見交換）できたことは有意義であった。今後も施設等の現地確認が不要な視察については、旅費の効率化や移動時間のロスを少なくする観点から積極的に活用すべきと考える。
- ・ 今後は取手市と同様に、1人1台のPCで会議ができる状態が標準となるものと捉えているので、議員の啓発につながるような機会を作っていくことが必要であると感じる。
- ・ 八戸市議会も女性議員が6名いるので、超党派で出産、子育て、介護など女性にしか理解し得ない課題等を共有し、ワークライフバランスや現代社会に直結する課題として市全体へ広げていければと思う。
- ・ コロナ禍の中で人に会うことが制限されるが、逆にどこにいても移動時間等や旅費をかけずにオンラインでつながることができ、良い事例を勉強できるのでとても良いことだと思う。
- ・ 取手市の皆さんのパワーの凄さを感じることができて良かった。伸び盛りの市の勢いがよくわかる。慣習にとらわれないのが良い。

以 上